



いま、あたらしいことを。いつか、あたりまえになることへ。

2024年3月期 決算補足説明資料

2024年5月13日

SWCC株式会社

1. 2023年度決算概要
2. 2024年度通期業績予想

1. 2023年度決算概要

2023年度 決算総括

業績：外部環境の影響は受けつつもエネルギー・インフラ事業の牽引により、**前年度比増収・増益。**

・ エネルギー・インフラ事業

建設関連向けは、販売価格見直しや、収益改善を進め安定需要を捕捉。
電力インフラ向けは、特別高圧関連需要が堅調に推移したほか電力工事件名が下期以降増加。
前年度比**増収・増益。**

・ 電装・コンポーネンツ事業

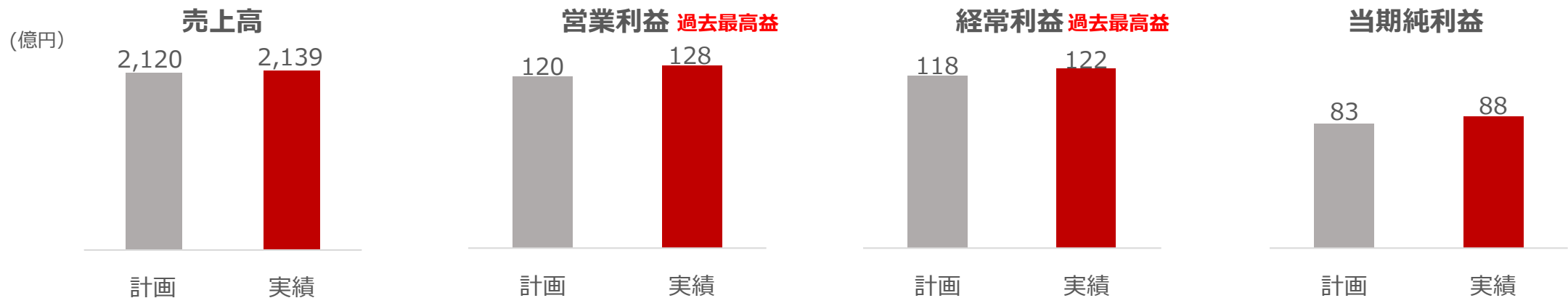
xEV向け高機能製品は一部回復も、一般汎用製品の産業機械向け需要が低迷。
前年度比**減収・減益。**

・ 通信・産業用デバイス事業

通信は、建設関連向けが堅調に推移したほか、車載向けが本格稼働。産業用デバイスは、オフィス向け需要が一部回復も、ワイヤハーネスは国内家電需要が低迷。前年度比**減収・減益。**

計画達成状況（売上高/営業利益/経常利益/当期純利益） ※**営業利益・経常利益とも、過去最高を記録**

(2024年2月2日 業績予想修正値を反映)



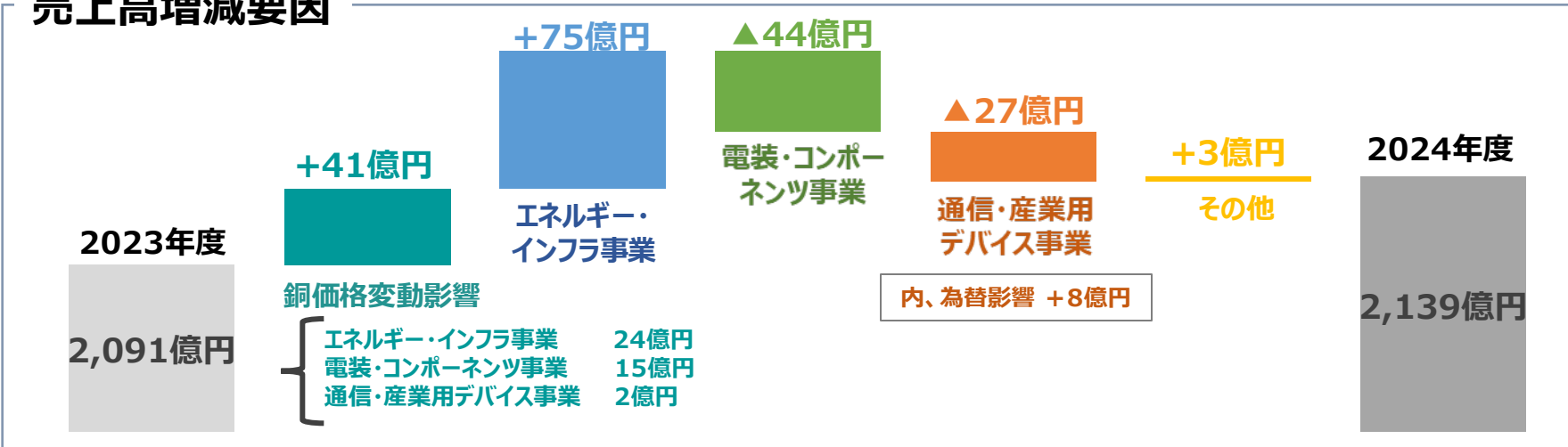
2023年度 連結業績 P/L

前年度比**増収・増益**。上方修正計画を上回り**営業利益、経常利益ともに過去最高を記録**。**期末増配**を予定。

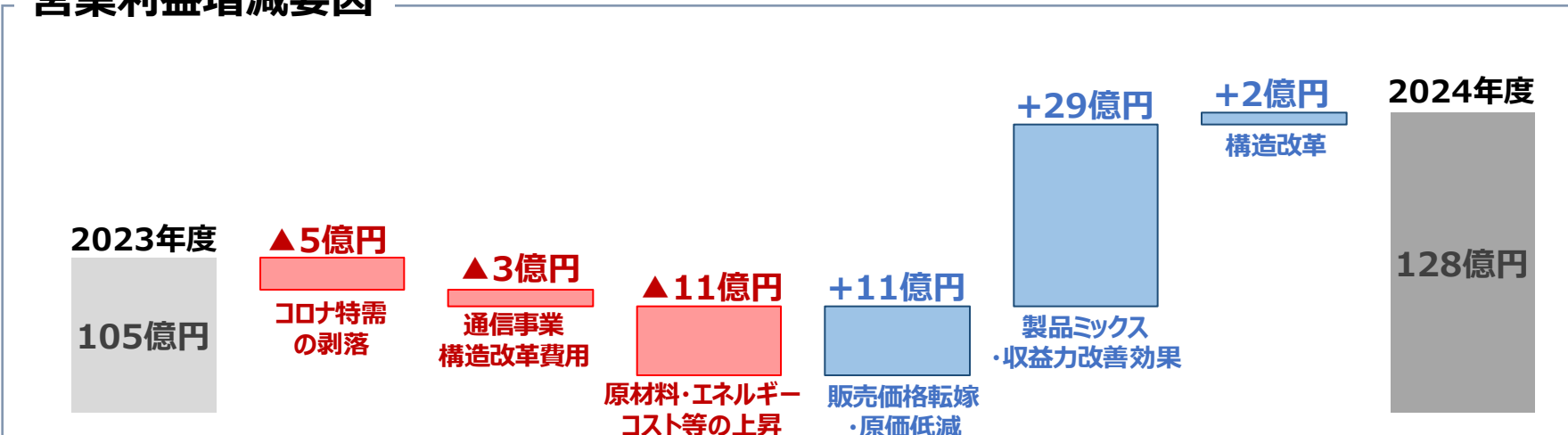
(単位：億円)	2022年度 実績	2023年度 実績	対前年増減率 (%)
売上高	2,091	2,139	2.3
営業利益	105	過去最高益 128	22.4
営業利益率 (%)	5.0	6.0	+1.0pt
経常利益	104	過去最高益 122	17.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	94	88	▲6.1
1株当たり配当 (円)	60	3Q決算発表時より 5円増配 90	30
ROE (%)	15.0	12.3	▲2.7pt
ROIC (%)	7.1	8.3	+1.2pt

2023年度 増減要因 (前年度比)

売上高増減要因



営業利益増減要因



【増減要因】

1. 売上高
産業機械向けおよび白物家電需要低迷も、**エネルギー・インフラ事業好調**により前年度比増収。

2. 営業利益
原材料・エネルギーコスト等の上昇を販売価格転嫁・原価低減でカバー。通信事業の構造改革に伴う一時的な損失やICT事業の収益本格化が遅延も、**各種収益力改善効果**により前年度比増益。

2023年度 セグメント別業績

産業機械向け需要の低迷ならびに中国・ベトナムの景気悪化等の影響を受けながらも、
建設、電力ともに好調なエネルギー・インフラ事業の牽引により全社収益は過去最高益を更新。

(単位：億円)		2022年度 実績	2023年度 実績	対前年 増減率 (%)	2023年度 ROIC (%)
エネルギー・インフラ事業	売上高	1,133	1,232	8.7	12.3
	営業利益	77	107	39.6	
	営業利益率(%)	6.8	8.7	+1.9pt	
電装・コンポーネンツ事業	売上高	581	553	▲4.9	6.4
	営業利益	17	16	▲3.7	
	営業利益率(%)	2.9	2.9	+0.0pt	
通信・産業用デバイス事業	売上高	333	307	▲7.6	4.4
	営業利益	18	14	▲22.1	
	営業利益率(%)	5.3	4.5	▲0.8pt	

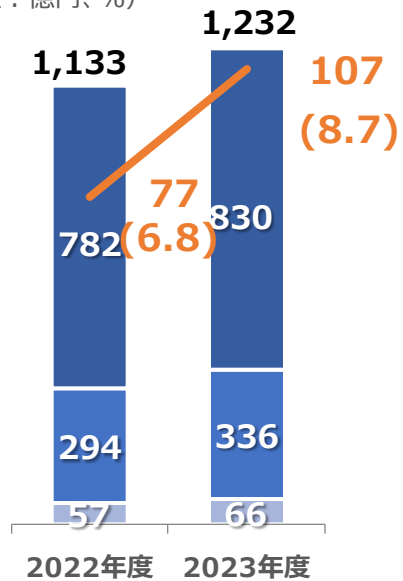
2023年度 セグメント業績

産業機械向けおよび白物家電向け需要が低迷するも、**好調な建設および電力関連**が全体の業績を牽引。**xEV関連は一部需要回復**。

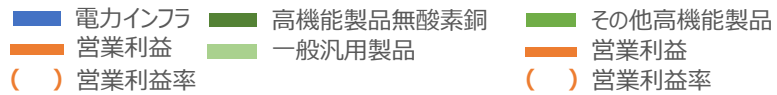
エネルギー・インフラ事業



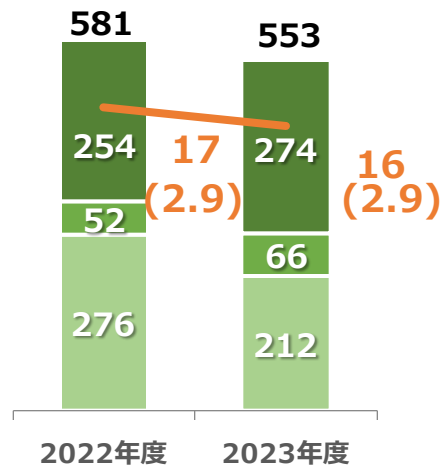
(単位：億円、%)



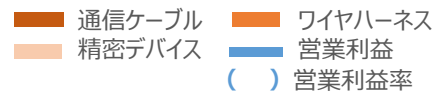
電装・コンポーネンツ事業



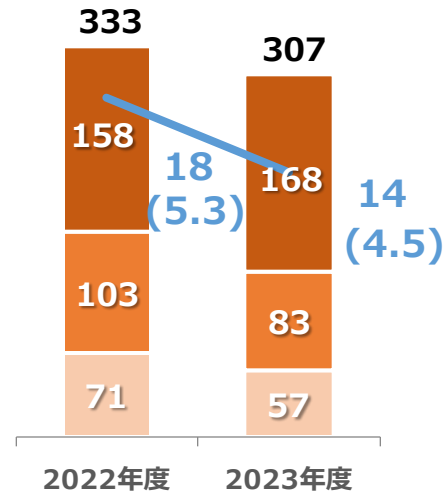
(単位：億円、%)



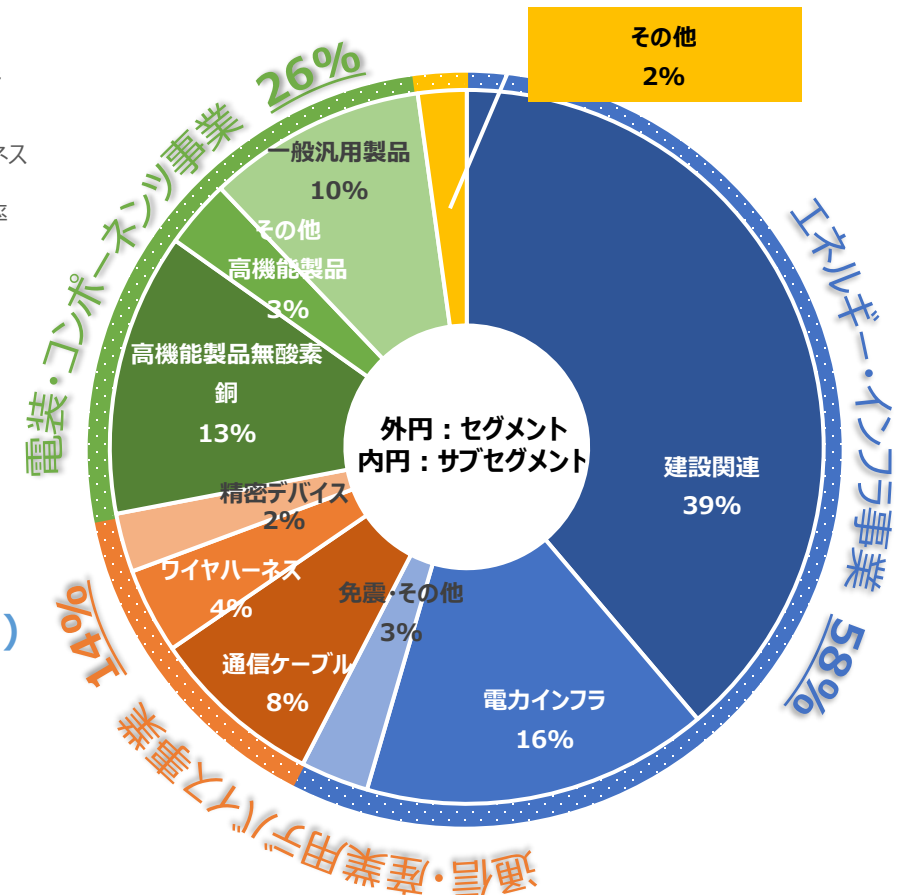
通信・産業用デバイス事業



(単位：億円、%)



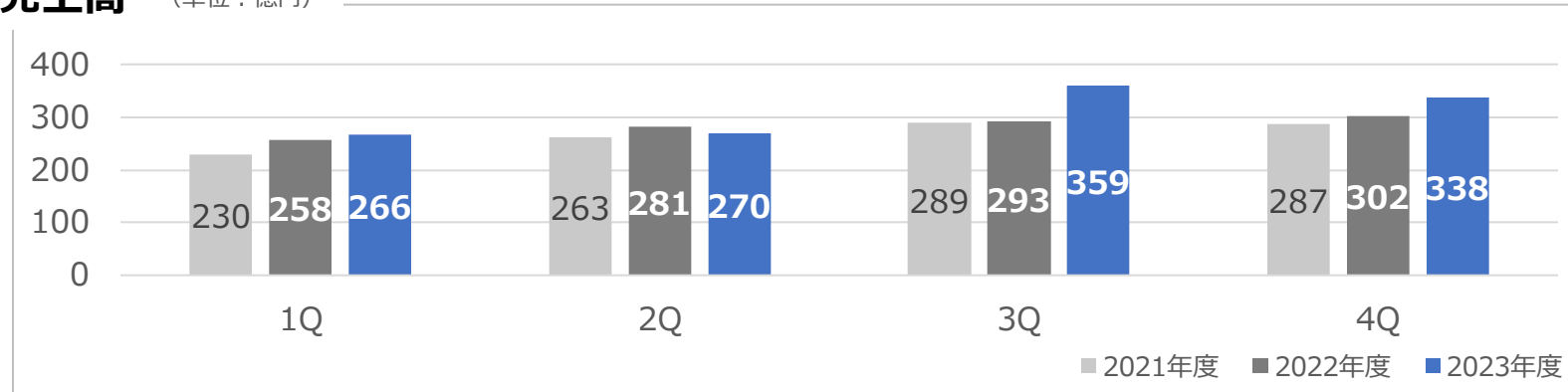
2023年度実績 セグメント売上高比率



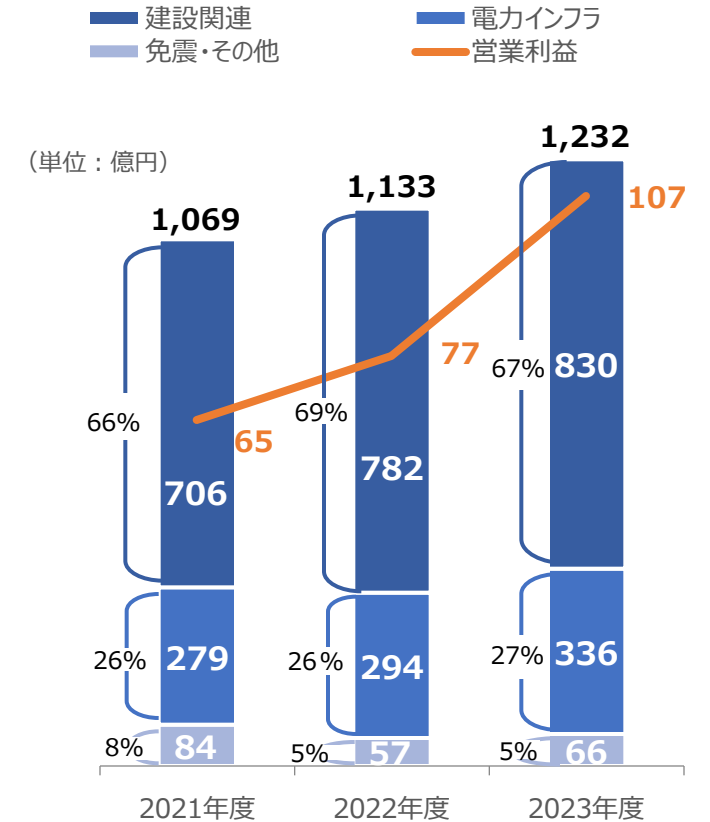
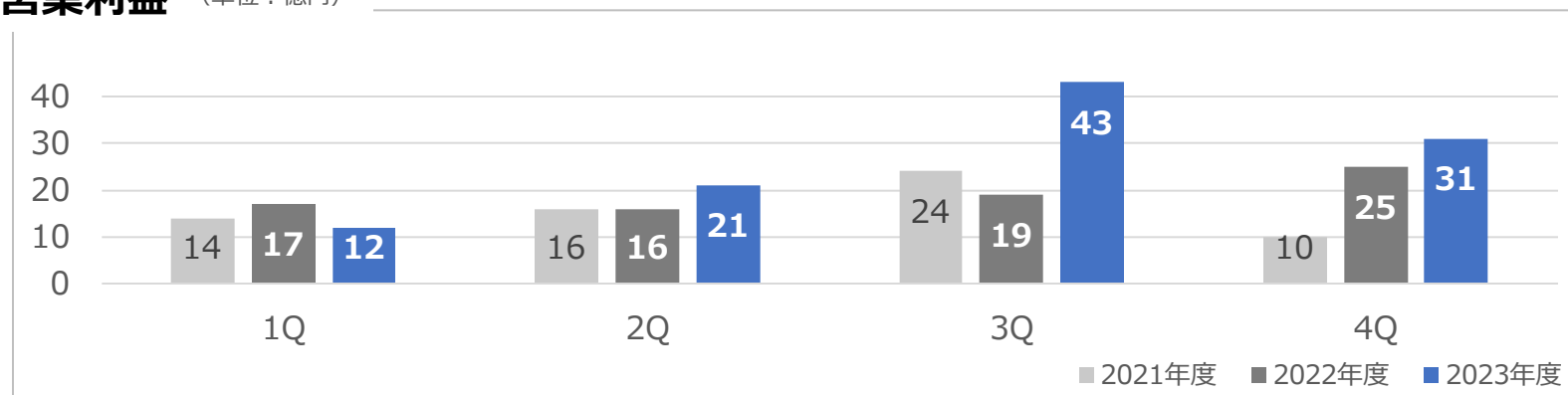
2023年度 セグメント業績 エネルギー・インフラ事業

建設関連の収益改善や、老朽化更新および特別高圧関連需要が堅調に推移し、**前年度比増収・増益。**

売上高 (単位：億円)



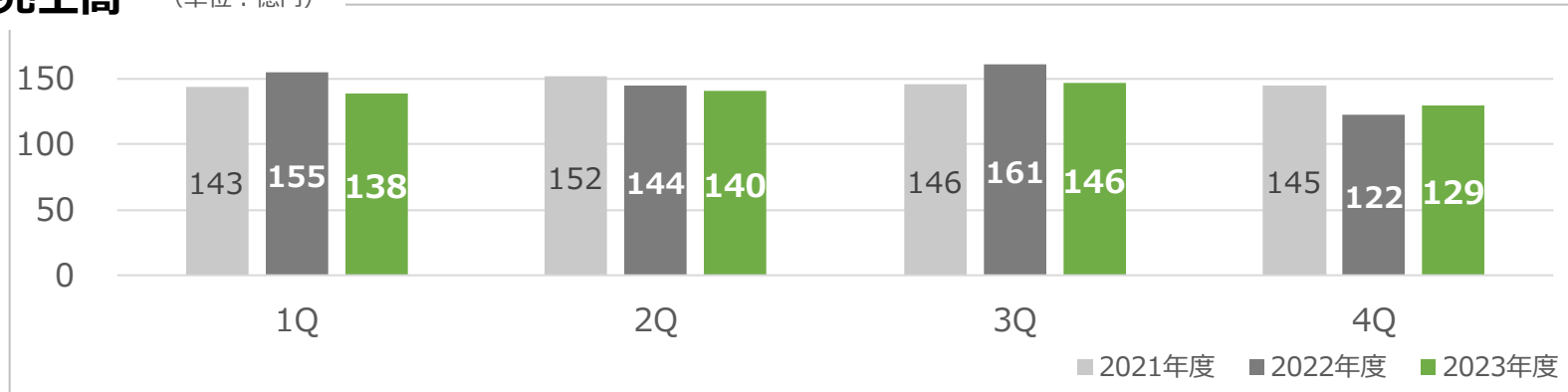
営業利益 (単位：億円)



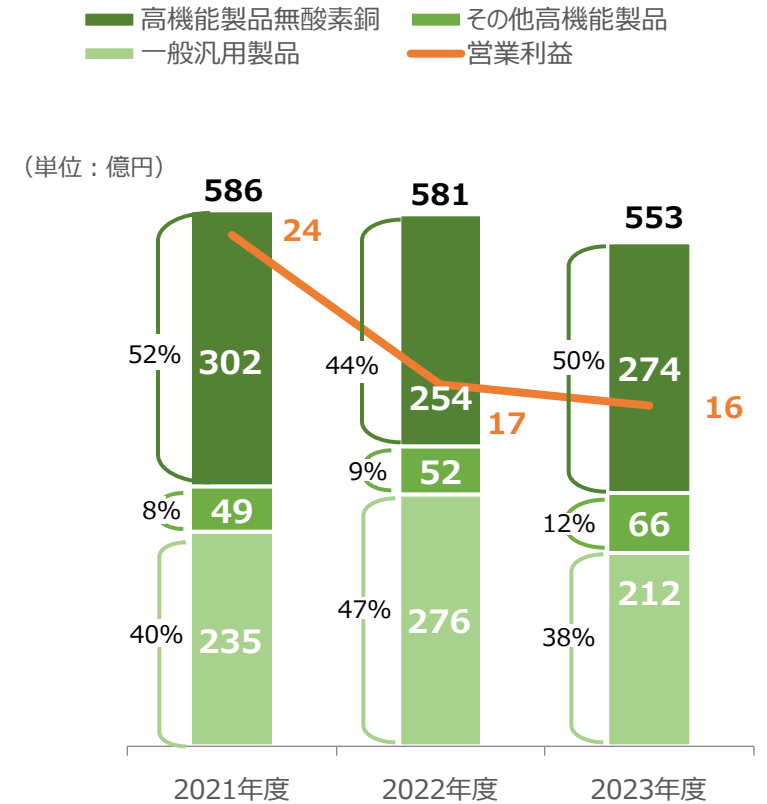
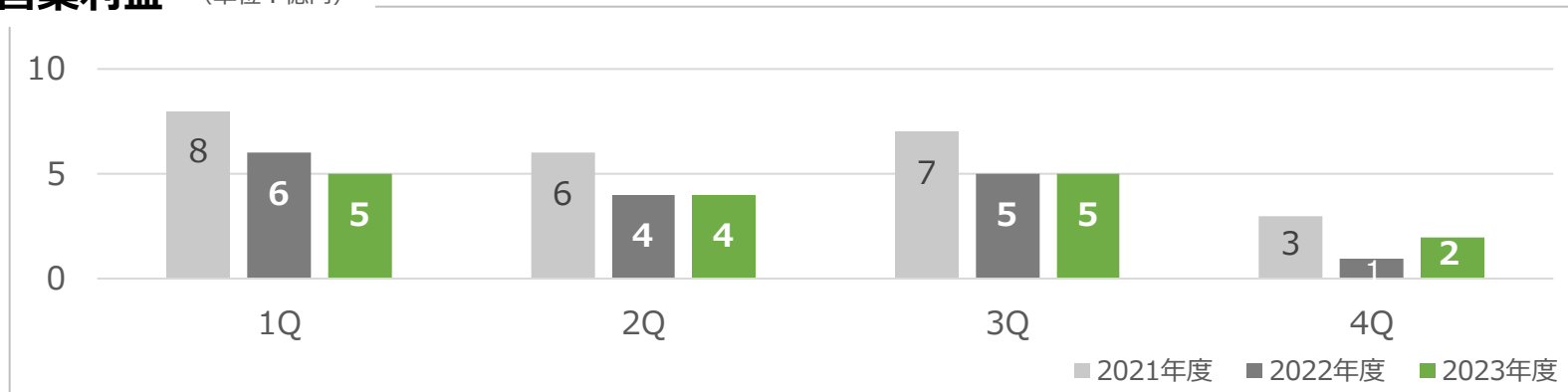
2023年度 セグメント業績 電装・コンポーネンツ事業

xEV向けは一部需要回復も、産業機械向け需要の低迷により、**前年度比減収・減益。**

売上高 (単位：億円)



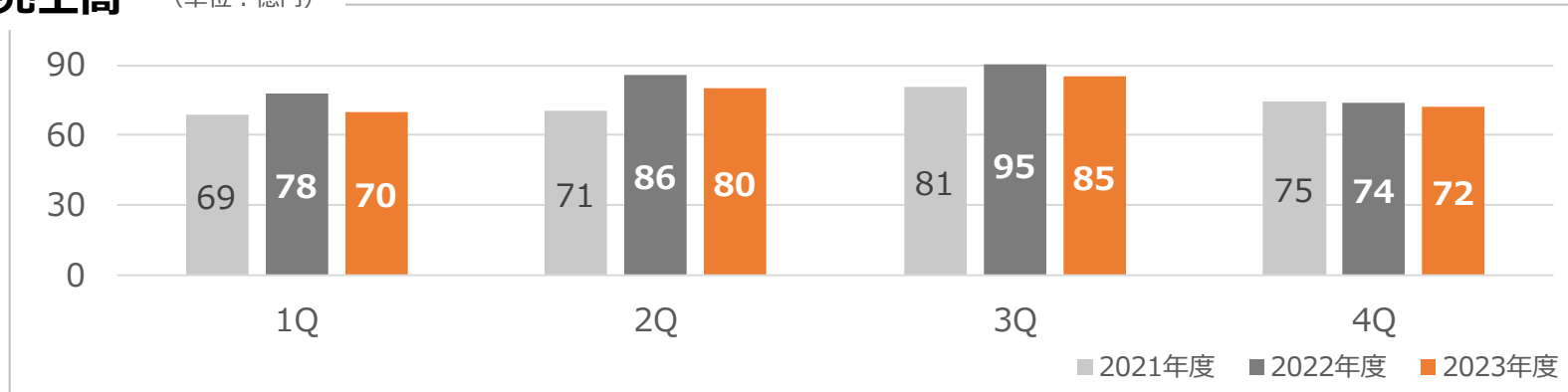
営業利益 (単位：億円)



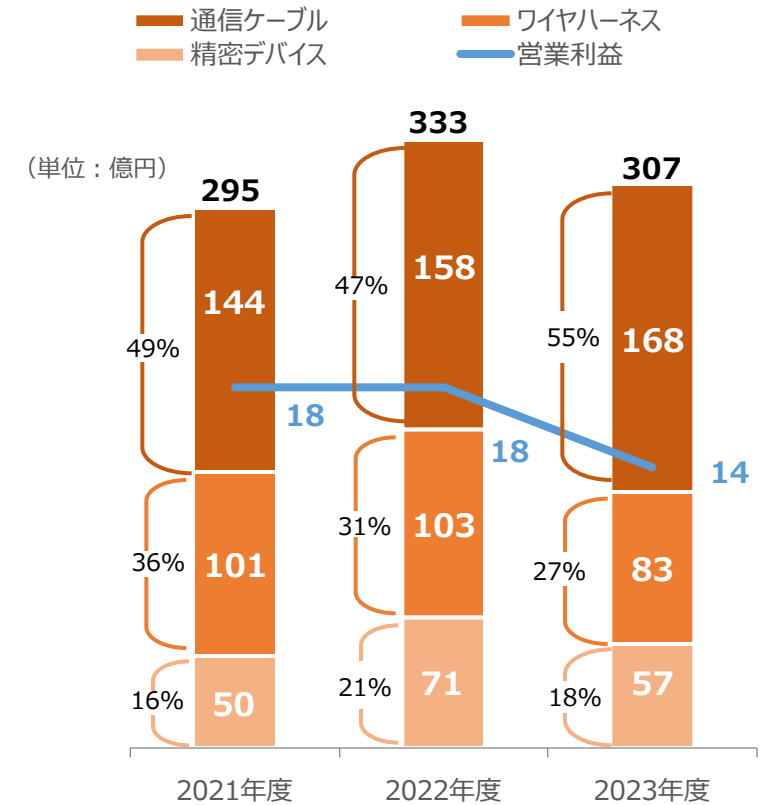
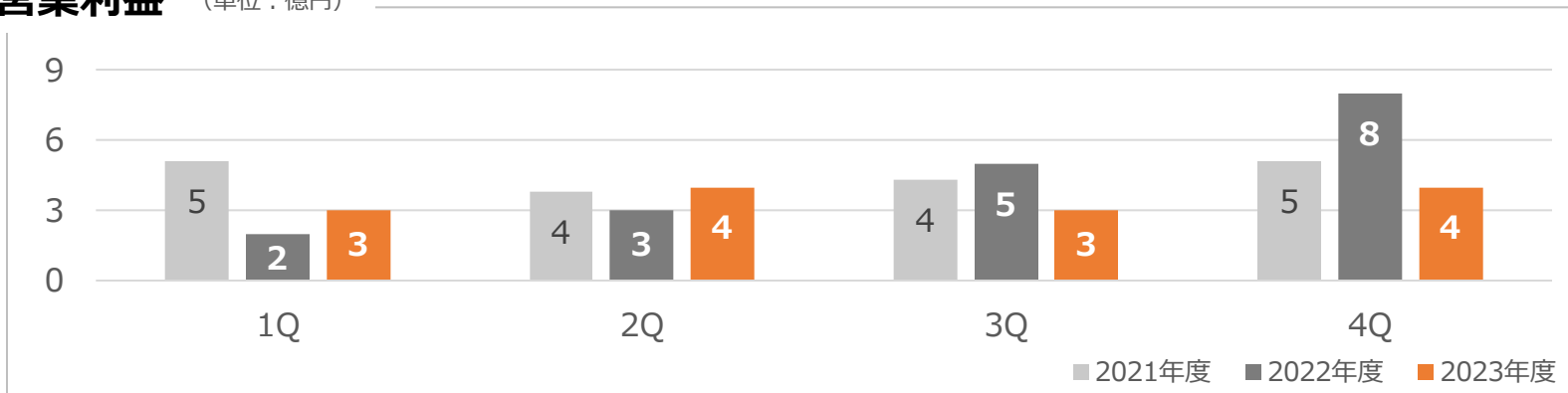
2023年度 セグメント業績 通信・産業用デバイス事業

建設関連向けおよび車載向け通信ケーブルは堅調も、家電向けワイヤハーネスの需要低迷、3Qに計上した構造改革費用の影響を受け、**前年度比減収・減益。**

売上高 (単位：億円)



営業利益 (単位：億円)



2023年度 連結業績 B/S (前期末比較)

(単位：億円)	2022年度末	2023年度末	増減
資産合計	1,567	1,616	49
売上債権	527	515	▲12
棚卸資産	282	290	9
固定資産	646	672	25
負債合計	883	845	▲38
仕入債務	249	260	11
有利子負債	412	303	▲109
純資産合計	684	771	87
自己資本	675	759	84
自己資本比率(%)	43.1	47.0	+3.9pt
DEレシオ(%)	61	40	▲21pt

【売上債権】

債権流動化の実施等により売上の増加幅よりも売上債権は圧縮。

【固定資産】

投資有価証券は、政策保有ポリシーに則り、売却を実施し減少も、主にSICONEX®の増産に伴う設備投資の増加、年金資産増による退職給付にかかる資産の増加等により増加。

【有利子負債】

債権流動化等による運転資金減少、また投資有価証券売却により有利子負債は減少。

【自己資本比率】

総資産の増加よりも、利益剰余金の増加等、自己資本が増加したため、前期末対比3.9pt増。

【DEレシオ】

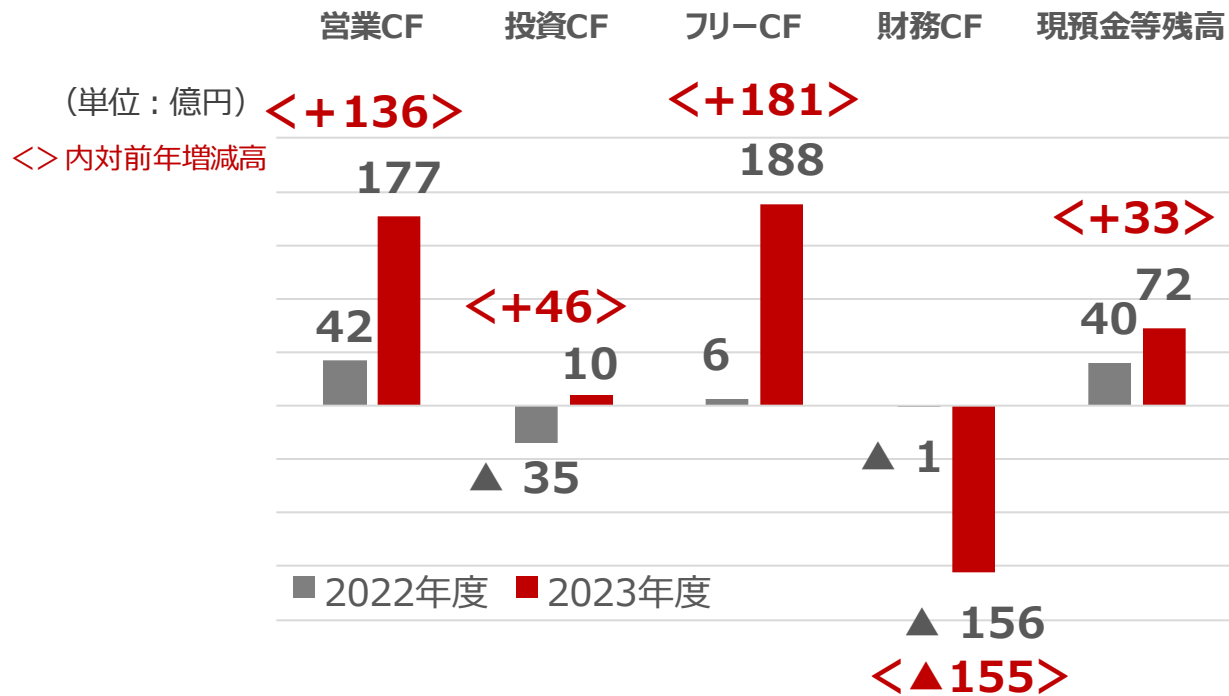
有利子負債が減少し、自己資本も増加したため、前期末対比21pt減。

＜現状の課題認識と今後の対応策＞

各種施策により、BSは改善傾向であるが、引き続き、適正な水準での在庫の確保と、債権回収期間の短縮を進めることで、改善を進める。

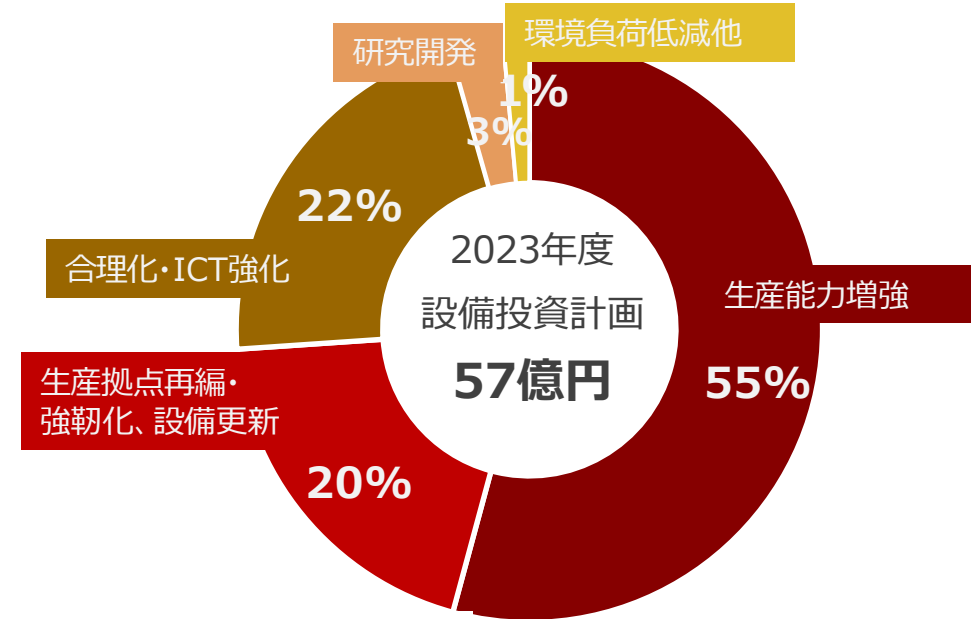
2023年度 連結業績CFと設備投資

< 連結キャッシュフロー >



営業CFは主に運転資金圧縮の影響により対前年136億円増加
 投資CFは投資有価証券売却収入により対前年46億円増加
 フリーCFは対前年181億円増加し当期188億円と大幅に改善

< 設備投資計画 >



セグメント別内訳

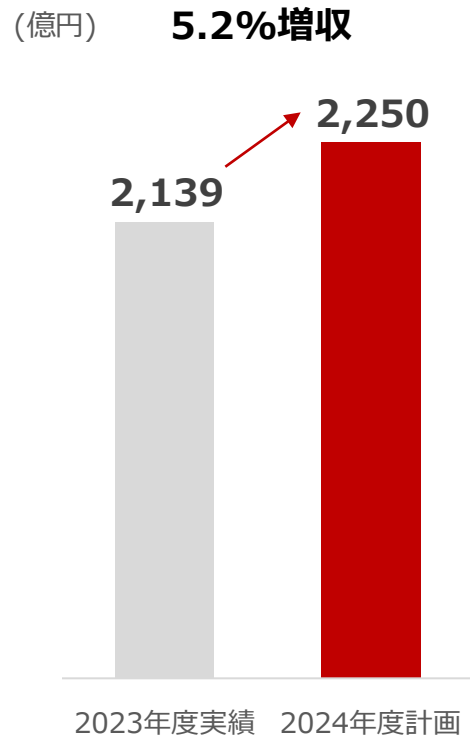
エネルギー・インフラ事業	26億円
電装・コンポーネツ事業	14億円
通信・産業用デバイス事業	11億円
その他	7億円

2. 2024年度通期業績予想

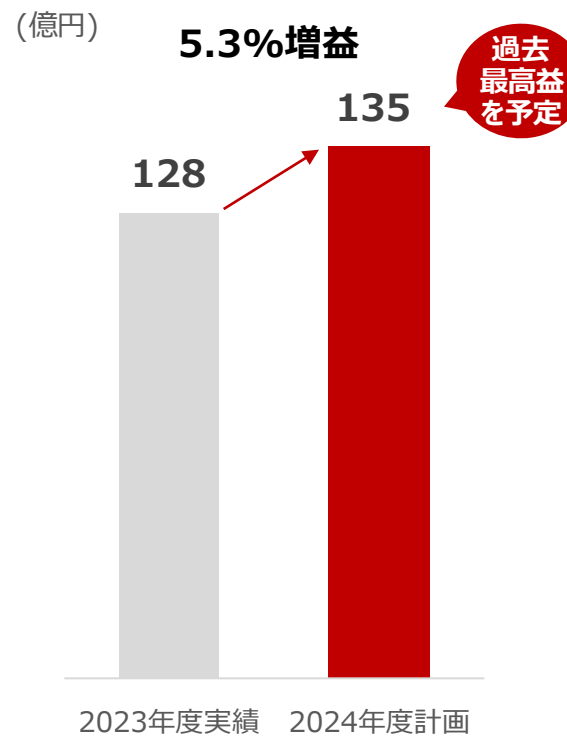
2024年度 通期業績計画

SICONEX[®]増産投資の売上貢献に加え、xEV向け高機能製品の需要回復により**増収・増益を計画**。
 配当金は前年度比**20円増配**し、**通期110円**の予定

売上高



営業利益



経常利益

130億円 (前年度比6.4%増)

過去
最高益
を予定

親会社株主に帰属する当期純利益

90億円 (前年度比1.8%増)

ROIC

8.7% (前年度比+0.4pt)

配当/配当性向

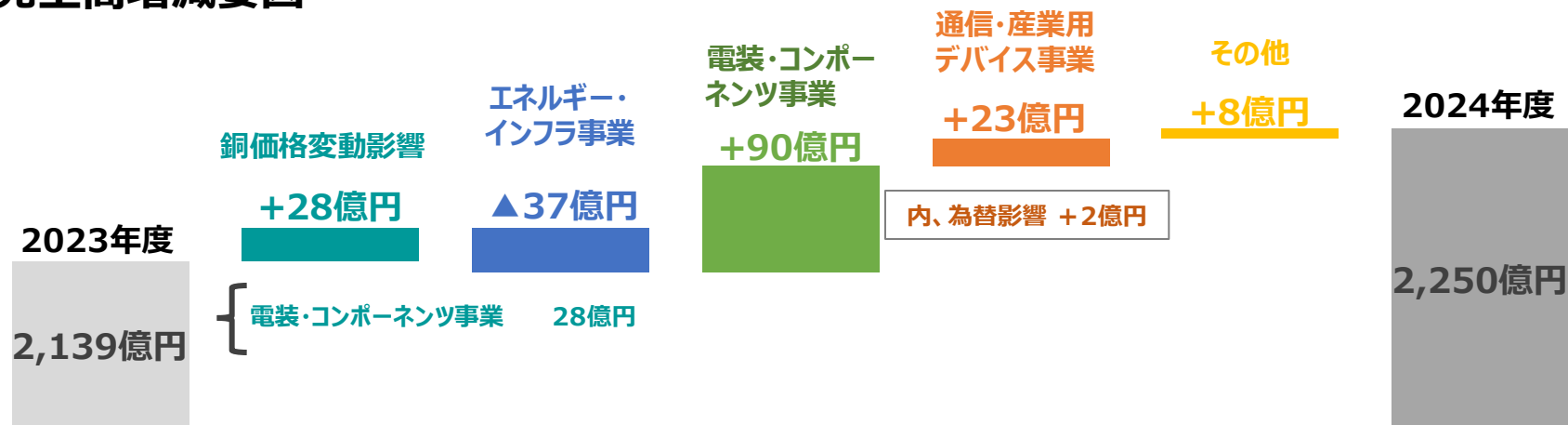
110円/36.1% (前年度比20円の増配)

中間:50円

期末:60円 合計 110円

2024年度 通期 増減要因

売上高増減要因



【増減要因】

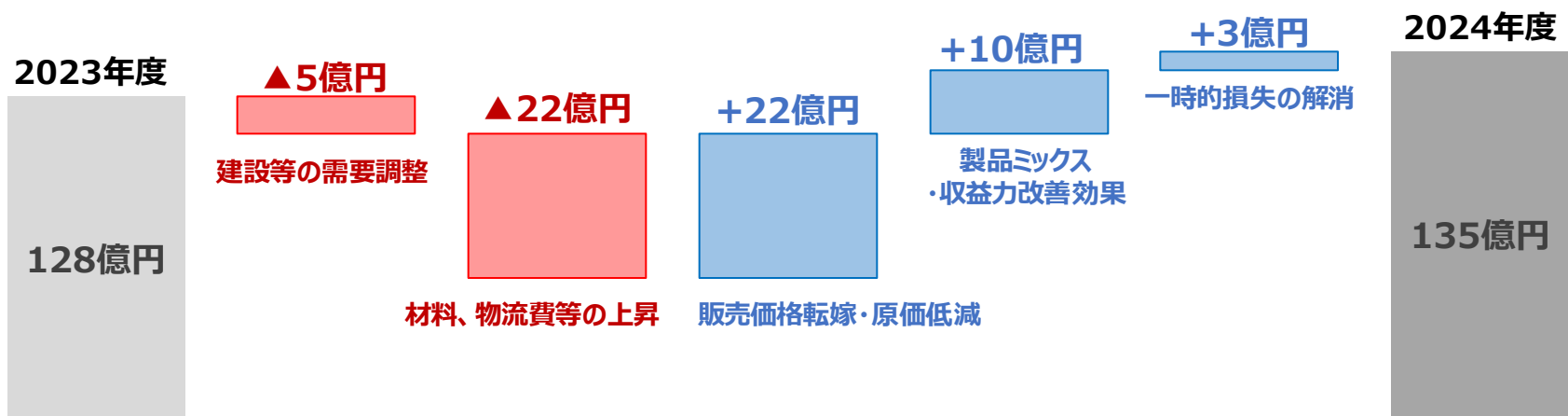
1. 売上高

建設等の需要調整による減収を織り込むも、xEV向け需要の回復に伴い**前年同期比増収**の見通し。

2. 営業利益

原材料価格、物流費の上昇については、販売価格転嫁と原価低減でカバー。建設等の需要調整発生を見込むも、通信事業の一時的損失の解消に加えて、製品ミックスおよび各種収益力改善効果により**前年同期比増益**を見込む。

営業利益増減要因

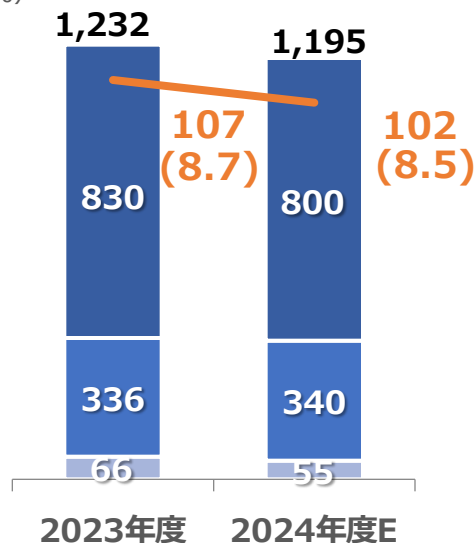


2024年度 セグメント別業績計画

エネルギー・インフラ事業

■ 建設関連 ■ 電力インフラ
■ 免震・その他 ■ 営業利益 () 営業利益率

(単位：億円、%)



銅価影響：-

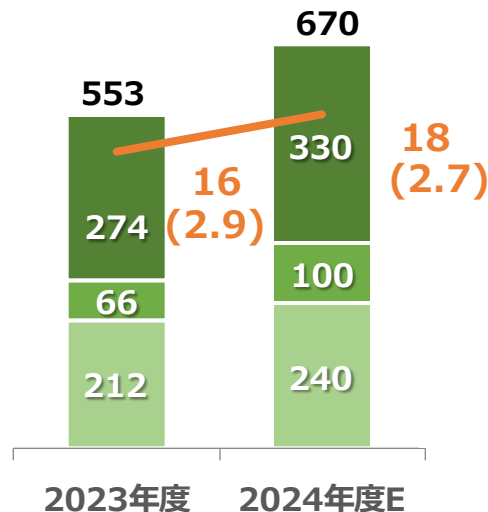
+要因 ● SICONEX®の増産投資による売上貢献

-要因 ● 建設等の需要調整

電装・コンポーネンツ事業

■ 高機能製品無酸素銅 ■ その他高機能製品
■ 一般汎用製品 ■ 営業利益 () 営業利益率

(単位：億円、%)



銅価影響：売上高28億円増

+要因 ● xEV向け高機能製品の需要回復

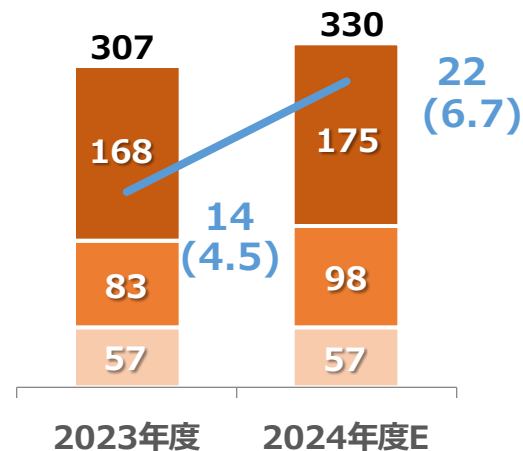
● 重電向け需要堅調

-要因 ● 産業機械向けの需要低迷

通信・産業用デバイス事業

■ 通信ケーブル ■ ワイヤハーネス
■ 精密デバイス ■ 営業利益 () 営業利益率

(単位：億円、%)



銅価影響：-

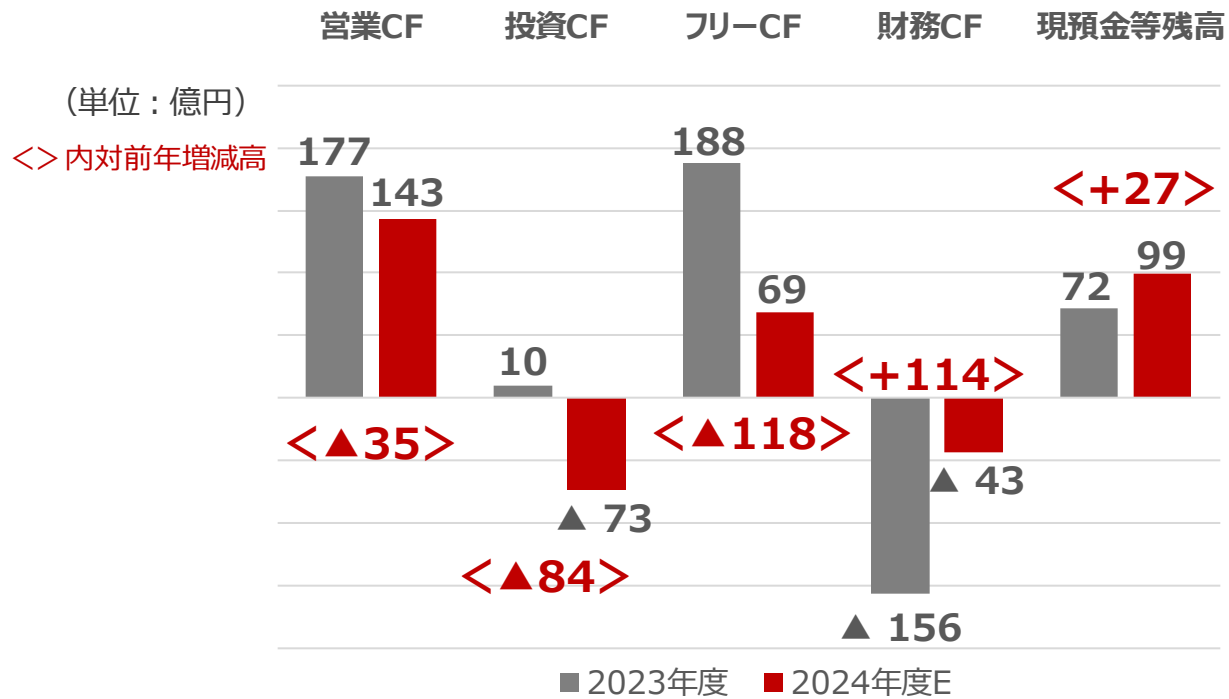
+要因 ● 車載向け高速通信ケーブルの需要拡大

● 通信ケーブル事業の一時的損失解消

-要因 ● -

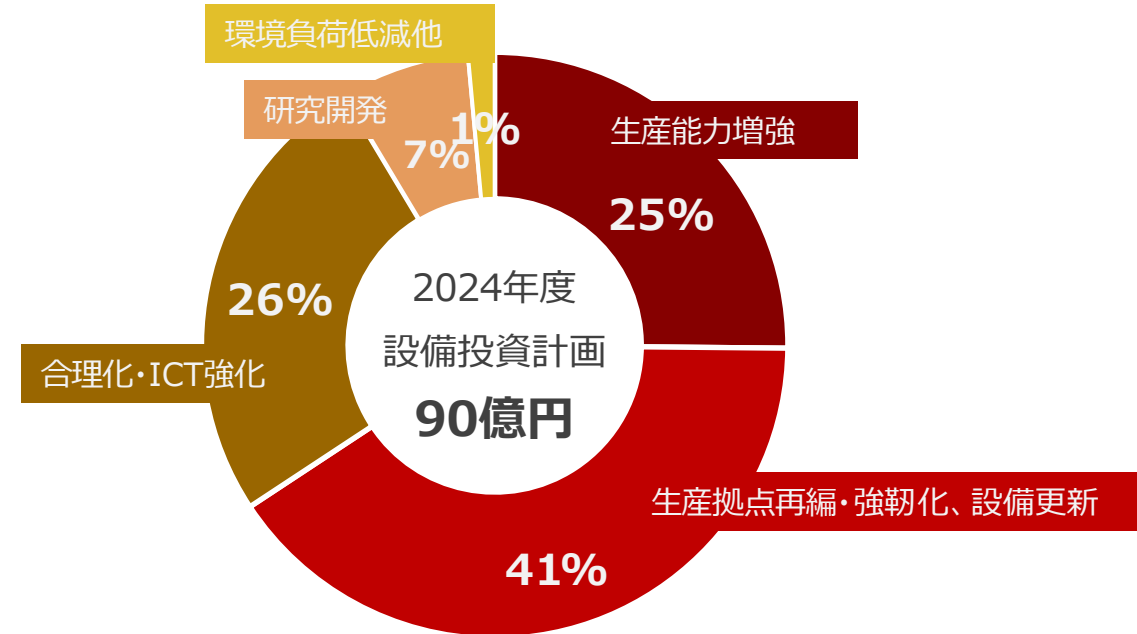
2024年度 連結業績CF予想と設備投資計画

< 連結キャッシュフロー >



2024年度の営業CFは法人税等の支払増加により減少
投資CFは、設備投資の増加により支出増加

< 設備投資計画 >



セグメント別内訳

エネルギー・インフラ事業	30億円
電装・コンポーネツ事業	21億円
通信・産業用デバイス事業	12億円
その他	27億円



SWCC株式会社

<https://www.swcc.co.jp>

本説明資料に記載されている将来の業績予測値は、公表時点で入手可能な情報に基づいており、潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。このため、実際の業績は、さまざまな要素により、記載された予測値と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、経済情勢、需要動向、原材料価格・為替の変動などが含まれます。なお、業績等に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。